

Press Release

2014年10月23日(木)
仙台水族館開発株式会社
株式会社 横浜八景島

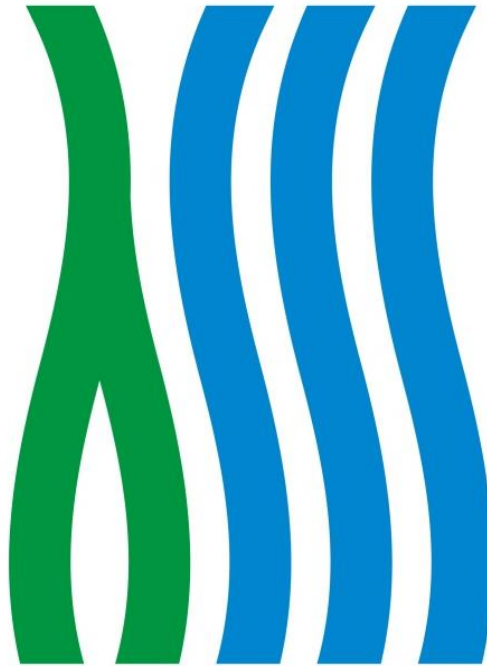
仙台水族館(仮称) 名称決定





仙台水族館開発株式会社(本社:宮城県仙台市、代表取締役社長:戸尾 圭志)は、仙台水族館(仮称)を、高砂中央公園(仙台市仙台港背後地に計画中)の内部設置に向けて、事業を推進しています。この度、名称を決定いたしましたので、お知らせいたします。

○名称・ロゴ



仙台うみの杜水族館

SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM

○館名について

はるか昔から、この地に生きる人々にとってかけがいのない宝であり、誇りでもある豊かな海。様々ないのちを“うみだす”海の素晴らしさを知っているここ杜の都・仙台から、人と海や川との新しいつながりを“うみだす”水族館、それが「仙台うみの杜水族館」です。

○ロゴマークについて

「人」そして「水の流れ」をイメージした造形を組み合わせたシンボルマークは、実は仙台の「仙」という漢字を模しています。古くから人々と自然とのかかわりが深い地域であることへの気づきを感じていただきたいという思いでデザインされました。

またカラーリングは、「杜の都」の愛称に象徴される緑豊かな平野と、都市部からほど近く広がる海という仙台の風土を表現しています。



仙台うみの杜水族館
SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM

○「東北の海」とおして地域活性化に貢献

「仙台うみの杜水族館」の1階では、冷たいながらも豊かで美しい「東北の海」をさまざまな形で展示いたします。「冷たい海」にくらす美しい生きもの、世界三大漁場としても知られる豊かな「三陸の海」、松島湾に代表される「内湾」などの「東北の海」の環境は、昔からそこに暮らす人々の生活と深いかかわりをもっていました。

「仙台うみの杜水族館」では、「東北の海」が持つ様々な側面を魅力的に展示するだけでなく、そこに暮らす人々とのかかわりも展示に取り入れた「地域とともに作り上げる」展示を行うことで地域活性化に貢献してまいります。

三陸の海

世界三大漁場である豊かな「三陸の海」。そこに暮らす人々は今も昔も「漁」により豊かな海の恩恵にあずかってきました。

三陸の海のコーナーでは、**県内各地の漁協と連携し**、活気ある市場と豊かな水揚げ風景を展示に取り込み、「三陸の海」と人々とのかかわりを紹介するとともに、地域活性化や水産業の発展に貢献してまいります。

内湾

三陸の海岸はリアス式海岸と呼ばれ、その複雑で入り組んだ海岸は波を穏やかにし、松島湾を代表とする「内湾」での養殖業を盛んにしました。もっとも代表的なカキ養殖では、いかだから垂下されるカキが魚たちの隠れ家にもなり、豊かな生態系を作っています。カキを通して海と生きものたちと人との共生関係ができています。

内湾のコーナーでは、カキをテーマとしたワークショップなどを**地域の水産業にかかわる方々と連携して行い**、学びながら楽しめるお客さま参加型展示を行います。



漁協と連携した展示(イメージ)



仙台うみの杜水族館
SENDAI UMINO-MORI AQUARIUM

○展示生物について

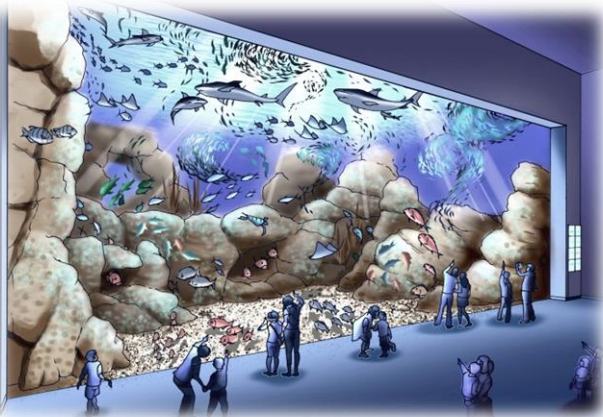
「仙台うみの杜水族館」の見どころの一つとして、世界三大漁場である「三陸の海」にすむ生きものをありのままの姿で展示します。三陸の海を再現した大水槽では、群れを成して泳ぐマイワシ、それを追うマサバやシュモクザメなどを中心に展示します。

春夏秋冬の移ろいを感じることができる山・里・川を再現したコーナーもあり、ヤマメ、イワナなどの河川にいる代表的な生きものや、リスなどの小動物を観察することができます。

そのほかにも、世界最大種の淡水魚であるピラルクや、世界一小さなペンギンのフェアリーペンギン、広大な海をゆったりと遊泳するアカウミガメなどの「世界の生きもの」を展示し、「水」を通して「世界とのつながり」を感じていただくことのできる空間を創り出します。

また、マリニピア松島水族館の人気者、イロワケイルカ(通称:パンダイルカ)やバイカルアザラシ、アメリカンビーバー、さらには間近でふれあうことのできるフンボルトペンギンやオタリア、そしてバンドウイルカ・カリフォルニアアシカのショーなどエンターテインメントも充実しています。

全体の水槽数は約100基となり、魚類、海獣類だけでなく、鳥類、両生類、爬虫類、無脊椎動物など幅広い展示の賑やかな水族館となります。



三陸の海を再現した大水槽



山や里、川を再現したコーナー



東北最大級のショー



生きものたちとふれあえるコーナー

○スポンサーシッププログラムについて

「仙台うみの杜水族館」では、水族館内の各種ゾーンのネーミングライツをはじめとしたスポンサーシッププログラムを展開しております。「仙台うみの杜水族館」にご協賛頂く中で、スポンサー企業、団体の広告宣伝、プロモーション活動にご活用頂きます。またスポンサー企業、団体を対象とした「仙台うみの杜水族館」の商標利用権、入場招待券のご提供や夜間の貸し切りプラン、水族館のバックヤードツアーといった特別プログラムも各種ご用意しております。

■「仙台うみの杜水族館」の概要

建設地	宮城県仙台市 仙台港背後地 高砂中央公園内
総事業費	約 65 億円
階数	地上 2 階
構造	鉄骨造
建築面積	約 6,100 m ²
延床面積	約 9,900 m ² (総水量約 3,000t)
公園施設 設置許可面積	約 13,500 m ²
展示水槽数	約 100 基
スケジュール	2013 年 12 月 4 日に工事着手。開業は 2015 年 7 月を予定。

■仙台水族館開発株式会社の概要

名称	仙台水族館開発株式会社
代表者	代表取締役社長 戸尾 圭志
所在地	宮城県仙台市青葉区一番町三丁目 7 番 1 号電力ビル
設立年月日	2013 年 2 月 20 日
資本金	13.5 億円
出資構成	三井物産株式会社 47.6%、カメイ株式会社 18.9%、株式会社横浜八景島 11.9%、株式会社ユアテック 10.8%、株式会社河北新報社 5.4%、株式会社仙台三越 5.4% 上記株主に加え、一般財団法人民間都市開発推進機構が優先株を保有。
事業内容	仙台水族館(仮称)の建設並びに設置・運営
ホームページ	http://www.sendai-aquarium-development.co.jp/

